

令和 8 年 6 月 5 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 大坪正幸

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 公共施設の「未来の強化書」、グランドデザイン案について

答弁を求める者 市長、教育長

昨年 6 月議会では「未来の都市経営のための公共施設のあり方（ファシリティマネジメント）について」、本年 3 月議会では「未来づくりの戦略、1 年間の総括と今後の取組について」一般質問を行い、公共施設に対する考え方、方向性を伺った。

本年 5 月 19 日、20 日、21 日、総務文教委員会では滋賀県湖南市、京都府福知山市、静岡県焼津市に行政視察を行った。湖南市では「公共施設等マネジメント推進基本条例」及び「小規模多機能自治基本構想」、福知山市では「廃校 Re 活用プロジェクト」、焼津市では民設民営の「みんなの公民館まる」をそれぞれ視察した。

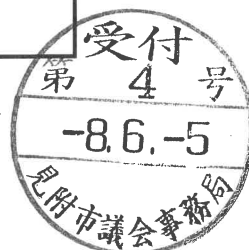
全国の多くの自治体では老朽化が進む公共施設の維持管理と施設の更新が大きな課題となっている。共通するのは「財源不足、担い手不足」であり、見附市においても例外ではない。

本年 5 月 25 日、議員協議会において高橋 CSO、企画調整課より「見附市公共施設等グランドデザイン案（公共施設最適化構想）」の説明があった。（資料 1）

グランドデザイン案は、限られた財源、人材、空間などの資源を前提に、公共施設が提供するサービスの効果、効率、公平性を最大化するための方針を示すものであり、公共施設の総量抑制・長寿命化などの管理方針を定める「見附市公共施設等総合管理計画」や、個別施設の具体的な対応方針を定めた実行計画である「見附市公共施設個別施設計画」に方向性を与えるものとしている。

計画期間は令和 9 年度（2027 年度）～ 令和 18 年度（2036 年度）の 10 年間で、計画終了時点までに年間 1 億～2 億円（ソフト事業含む）の収支改善をするものである。グランドデザイン案は、言い換えれば見附市の公共施設の「未来

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ



の強化書」ともいえるものであり、稲田市長の掲げる「暮らし満足度」に大きな影響を与えるものである。以下何点かお伺いする。

1 グランドデザイン案は「公共施設等」とあるので、建物以外の道路、橋梁などのインフラも含むのか。

2 当局の説明によれば、「計画終了時点までに年間 1 億～2 億円（ソフト事業含む）の収支改善」とある。

（1）議員協議会で勘違いする議員もいたことから改めて質問するが、令和 9 年度からの 10 年間で毎年 1～2 億円なのか、それとも 10 年後の令和 18 年度から毎年 1～2 億円の収支改善を目指すのか伺う。

（2）収支改善の目標値となる増収と費用の削減との内訳、積算の根拠を伺う。

（3）見附市はこれまで保育園民営化や指定管理者制度導入などの改革を進めてきたが、それでもなお年間 1～2 億円の改善を必要とする理由は何か。将来、財政にどのようなリスクを想定しているのか、達成できなかった場合の対応はどう考えているのか、市の認識を伺う。

3 本市の学校施設は公共施設の延床面積の 39%、約 4 割を占める。令和 8 年 3 月に策定された見附市学校適正配置計画によれば、令和 11 年度に見附第二小学校と上北谷小学校が、令和 12 年度には南中学校が、令和 15 年度には今町中学校が廃校になる予定である。

（1）廃校施設の利活用に関する担当課、窓口はどこか、利活用を定めた方針はあるのか、ないならばいつまでに策定するのか、タイムスケジュールを伺う。

(2) 民間活用をどの程度想定しているか。

(3) 学校に併設されている地域コミュニティや避難所機能に支障はないのか、課題と対策を伺う。

4 受益者負担の適正化は実質的な負担増のケースが多いと見込まれるため市民生活に直結する。利用料金見直しの対象施設、減免制度の見直し、高齢者や地域団体への配慮などについて市の見解を伺う。

5 今後の予定として7月に公共施設に関するタウンミーティングを開催するとある。開催日時、回数、会場、ミーティングの進め方、開催周知のための広報など、具体的なスケジュールを伺う。

6 当局は市民が公共施設の現状をどの程度理解していると認識しているのか。また、市民の理解を深めるためにどのような情報提供、施策が必要か、見解を伺う。一例としてこちらで作成した直感的に分かりやすい資料(資料2、AIで作成したため一部誤字がある)を添付したが、市ではこのような資料を用意するなどの工夫はされる予定はあるのか。

7 本年3月議会でも質問したが、「道の駅パティオにいがた」と「MEG CAFE 511」は本年4月から従来の見附方式から売上の一定割合を市に納入する方式に変更された。「ほっとぴあ」については指定管理期間を延長し、新たな方式を検討するとのことであったが、何がボトルネックになっているのか。進捗状況と今後の見通しを伺う。

見附市公共施設等グランドデザイン案を策定しました

見附市には、これまでのスマートウエルネスみつけの取組によって、外出を促すような魅力的な公共施設が数多くあり、市民の皆様が親しまれていると考えています。

しかしながら、全国的な傾向と同様に、本市においても今後、多くの公共施設が更新期を迎えます。老朽化が進んだ施設への対応に加え、人口減少や中長期的な視点に立った財政対策という課題にも向き合いながら、将来世代に過度な負担を先送りすることなく、持続可能な施設運営と時代に即した魅力ある公共サービスを両立させるため、公共施設の最適化に取り組んでいく必要があります。

今回、第 6 次見附市総合計画に基づき、限られた財源や空間などの資源を前提に、公共施設が提供するサービスの効果や効率を最大化するための基本的な方針を示す「見附市公共施設等グランドデザイン案」を策定しましたので、お知らせします。

1. グランドデザイン案の概要

(1) 位置付け

グランドデザインは、限られた財源、人材、空間などの資源を前提に、公共施設が提供するサービスの効果、効率、公平性を最大化するための方針を示すものであり、公共施設の総量抑制・長寿命化などの管理方針を定める「見附市公共施設等総管理計画」や、個別施設の具体的な対応方針を定めた実行計画である「見附市公共施設個別施設計画」に方向性を与えるものです。

(2) 計画期間と目標

計画期間：令和 9 年度（2027 年度）～ 令和 18 年度（2036 年度）の 10 年間

計画目標：計画終了時点までに年間 1 億～2 億円（ソフト事業含む）の収支改善

※なお、上記目標はハード・ソフト両面から以下の 3 層で積み上げます。

① 構造改革（必達目標）

施設の統廃合・民間活力の活用・機能停止などによる最適化

② 経営効率化（努力目標）

DX 推進・省エネ化・使用料の見直し等による収支改善

③ 財源創出（プラスアルファ目標）

民間活力を活用した広告・資産活用による新たな収入確保

（３）最適化にあたっての３つの視点

以下３つの視点を基本的な検討軸としながら、施設毎に利用状況や老朽度、維持管理コスト、代替可能性、市民や時代のニーズを分析し、施設・運営の両面から公共施設の最適化を進めます。

① 全体最適視点	② 中長期視点	③ 防災・安全視点
市全体の公共施設マネジメントの観点から、役割・配置・規模・代替可能性・広域連携などを多角的に分析	人口ビジョンや中長期財政見通し、利用実態を踏まえ、10年にとどまらない長期的視野で判断	避難所・防災拠点としての機能維持を必須検討事項とし、地域防災計画との整合を確保

（４）施設類型毎の基本的な方針

第６次見附市総合計画の各目標および本グランドデザインの基本戦略との整合を図りながら、学校関連施設、集会施設（公民館、ネーブルみつけ等）、スポーツ施設、文化関連施設など施設類型ごとの検討方針を示しました。

（５）具体的な進め方

基本的な３つの視点を持ちつつ全公共施設を対象に、①対象施設の分類・整理、②個別施設の実態把握、③受益者負担の適正化検討、④収入歩合制施設の収入改善検討、⑤新たな収入源の検討、⑥アクションプラン対象施設の決定、の６ステップで段階的に検討を進めます。

（６）アクションプランの作成

抽出されたアクションプラン対応施設を対象に、実施工程・手法等の具体的な内容を設定します。なお、アクションプランは、公共施設個別施設計画の中に位置付けられます。

２．今後のスケジュール（予定）

令和 8 年 7 月 公共施設に関するタウンミーティング開催

令和 9 年 1 月 公共施設等総合管理計画(案) 公表・パブリックコメント実施
⇒令和 8 年度内目途に策定

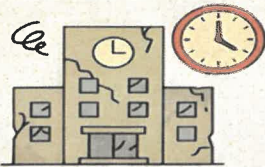
令和 9 年 3 月 アクションプラン(案) 公表 ⇒ 同年 4～5 月に説明会開催予定

令和 9 年 7 月 公共施設個別施設計画(案) 公表・パブリックコメント実施
⇒令和 9 年度内目途に策定

＼みんなで考えよう！／ 見附市の公共施設のミライ

資料2

今、見附市が直面している 「3つのピンチ」



施設がボロボロ(老朽化)
多くの建物が古くなり、いっせいに作り替えや修理が必要な時期を迎えています。



**使う人が減っている
(人口減少)**
人口が減ることで、施設を利用する人が少なくなり、効率が悪くなっています。



**未来の私たちの借金
(将来の負担)**
今のままでは、今の中学生が大人になった時に多額の修繕費や借金が残ってしまいます。



未来を守るための 「3つの作戦」



**① まとめる・作り替える
(統廃合)**
似た機能を持つ施設を一つにまとめたり、民間の力を借りて効率よく運営します。

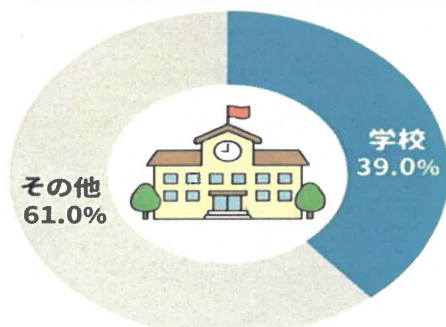


**② お金のバランス
(受益者負担)**
施設を使い続けるために、利用する人が公平に費用を負担する仕組みに見直しします。



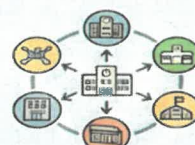
**③ 自分たちで稼ぐ
(広告や廣校活用)**
広告を載せたり、使わなくなった学校を別の街(リノベーション)で再利用して収入を得ます。

【現状データ】
公共施設の約4割は「学校」!
全196施設のうち、学校が39.0%



市にある公共施設の面積の約4割を小・中学校などの学校施設が占めています。

安心して暮らすための 「3つの約束」



**街全体の
バランスを考える**
一部の地域に偏らず、市全体で最適な施設の配置を目指します。



長い目で見ること
10年、20年先を見据えて、時代に合った魅力的なサービスを続けます。



**避難所としての
安全を守ること**
施設の形が変わっても、災害時の避難所としての機能は必ず守ります。

未来の未来を創る！ 公共施設グランドデザイン

～みんなで考える街の建物のこれから～

見附市の公共施設が抱える課題を解決し、前向きな戦略をみんなで考えるためのグランドデザイン。

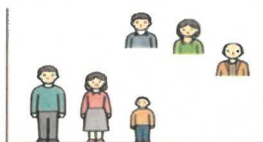
1. 見附市を襲う「3つの大ピンチ」

建物がどんどん古くなる！
「老朽化」



多くの施設が一度に更新の時間を迎えるため、直したり建て替えるのに多額のお金が必要になります。

使う人が減っていく！
「人口減少」



街の人口が減ると、施設を利用する人が少なくなります。効率的な運営が続くと、維持が難しくなります。

未来の世代の負担が増える！
「将来の負担」



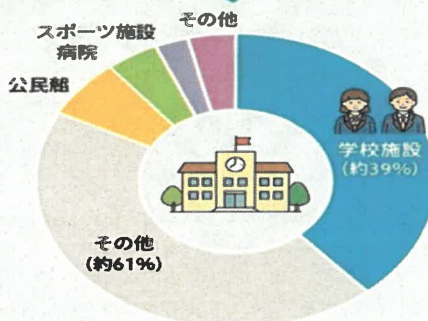
今、何もしないままだと、今の学生のみならず大人になった時に、古い建物の管理費をたくさん払わなくてはならなくなります。

2. 見附市の公共施設のいま

街の建物の数は
全部で

196施設

公民館、スポーツ施設、病院など、市が管理している施設は全部で196あります。

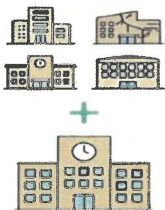


学校が全体の
約4割を占めている

全体の面積のうち、小中学校などの学校施設が約39%と最も多く、公共施設マネジメントの大きなポイントになります。

3. 未来を良くする 「3つの作戦（戦略）」

【必達】
構造改革
施設のあり方
を見直す



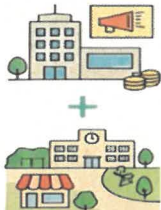
建物をまとめたり（納整合）、削の使い方に変わったり（機能転換）して、一昔使いやすい所に整えます。

【努力】
経営効率化
ムダを省いて
賢く使う



デジタルの力（DX）を使ったり、省エネを高めたりして、運営にかかるコストを減らします。

【プラスα】
財源創出
新しいお金を
生み出す



空いたスペースに広告を出したり、使わなくなった学校の跡地を活用したりして、新しい収入源を作ります。

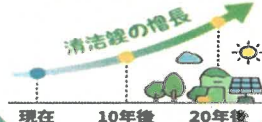
4. 計画で大切にする「3つの視点」

全体最適
市全体でベストな配置を
考える



一つの建物だけを見るのではなく、街全体のバランスを考えて、どこは何かあれば一番便利かを判断します。

中長期
10年、20年先まで見通す



防災・安全
もしもの時も安心・安全



公共施設は「避難所」としての役割も担っています。避難を整理する時も、みんなの命を守る機能はしっかり守ります。

